

貝の話



イヨギセル



ツヤマメアゲマキ

貝とは広義では軟体動物全体を指し、一番狭義では二枚貝綱と腹足綱(巻貝)のうち殻のあるものを指します。一般的には二枚貝綱と腹足綱全体に多板綱(ヒザラガイ)と掘足綱(角貝)を含めます。愛媛県では二枚貝綱575種、腹足綱1825種、多板綱26種、掘足綱13種、計2439種を確認しています。しかし、分類がはっきりしない種や、今後分類が変わる種、未記載種などがあり、2500種は優に越えます。

日時

令和5年

2月21日(火)

19:00~20:30

会場

愛媛大学 松山市文京町3番

E.U. リージョナルコモンズ「ひめテラス」1階
※Zoomによるオンライン参加もできます。

対象

自然に関心がある方30人、
参加無料

【お申し込み】

お名前、住所(都道府県・市町村・町名まで)、
メールアドレス、**会場参加/Zoomによるオンライン参加のいずれを希望するか明記し、**
下記メールアドレスへ。

(個人情報は適正に管理し、当事業関係のご連絡にのみ使用します。)

NPO法人 森からつづく道
(松山市鉄砲町1-7)

e-mail: info@morimichi.org

貝を集めて約50年。貝について
いろいろと話しをしたいと思います。

Web
申し込み



◆話題提供 石川 裕 さん

S. 24年生れ。元県立高校教諭。
貝歴約50年。
日本貝類学会会員。
愛媛県レッドデータブック改訂委員会
委員: 貝類担当



ウミウサギガイ

【主催】NPO法人森からつづく道

【後援】愛媛大学ミュージアム